

## 佐賀市南商工会地域経済動向調査

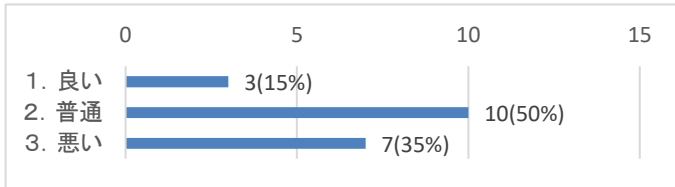
## 佐賀市南エリアの景況

佐賀市南商工会内 20 事業所を対象に景気動向、経営上の課題などを聞き取った。調査は令和 5 年 9 月に実施している。

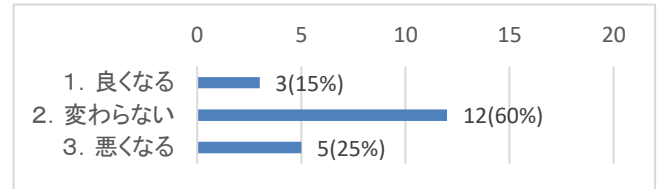
## ■佐賀市南エリアの動向(令和 5 年 7 月～9 月期)

## ◇景況判断

&lt;現在の景況感&gt;



&lt;3 か月後の見通し&gt;



## &lt;DI 値&gt;

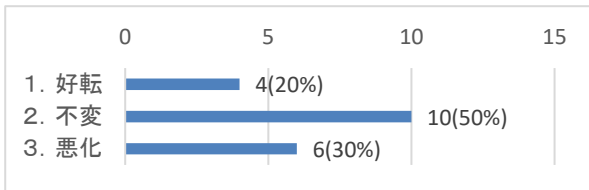
	調査数	現状 (R5. 8)	見通し (R5. 11)
全産業	20	▲20.0	▲10.0
製造業	5	▲20.0	0.0
建設業	6	▲33.3	▲16.7
小売業	5	0.0	0.0
サービス業	4	▲25.0	▲25.0

・佐賀市南エリアの景況感は、DI 値は 20.0 であり、現在の景況感を「良い」と評する事業所が「悪い」を上回っている。今後の見通しでは、DI 値は▲10.0(現状と比較して 10.0 ポイント増)であり、景況感は回復していく方向と予測されている。

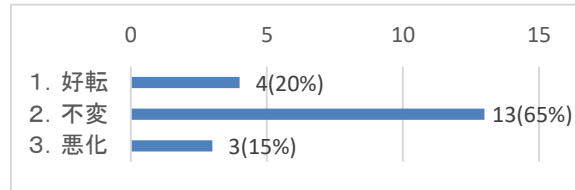
・母数が少ないため、業種別は参考値としてみてもらいたい。現状で、小売業は「普通」で、製造業、建設業、サービス業は「悪い」との景況感となっている。見通しについては、製造業、建設業でポイント増加、小売業、サービス業は横ばいとなっている。

## ◇売上

&lt;今期 R5.7～R5.9&gt;



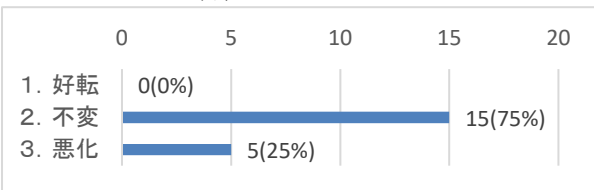
&lt;予定 R5.10～R5.12&gt;



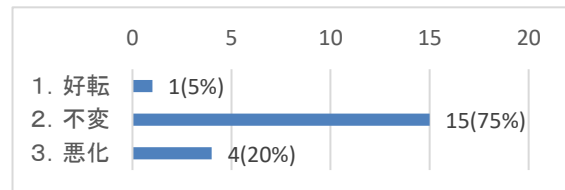
・売上については、現状では「不変」が 10 社 50%を占め、最も多い。今後についても、「不変」が 13 社 65%で最も多くなっている。

## ◇資金繰り

&lt;今期 R5.4～R5.6&gt;



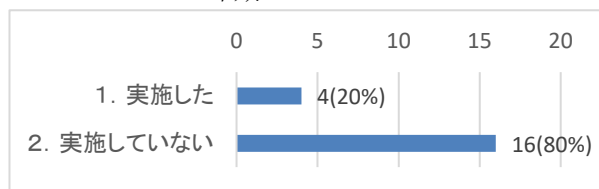
&lt;予定 R5.7～R5.9&gt;



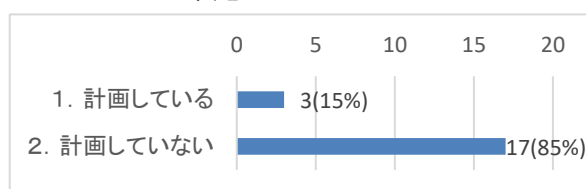
・資金繰りについては、現状では「不変」が 15 社 75%を占め、最も多い。今後についても現状と同等の傾向であり、「不変」が 15 社 75%で最も多くなっている。

## ◇設備投資

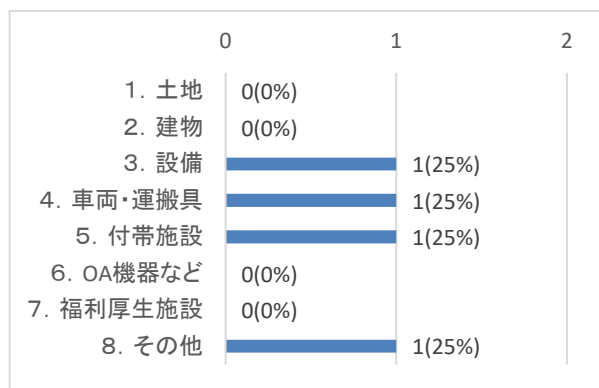
＜今期 R5.7～R5.9＞



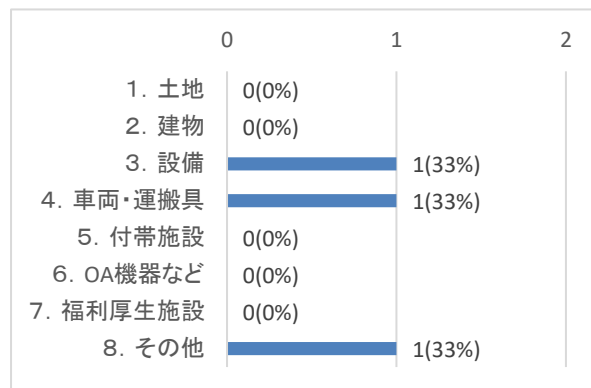
＜予定 R5.10～R5.12＞



＜実施した設備投資の内容＞



＜予定している設備投資の内容＞

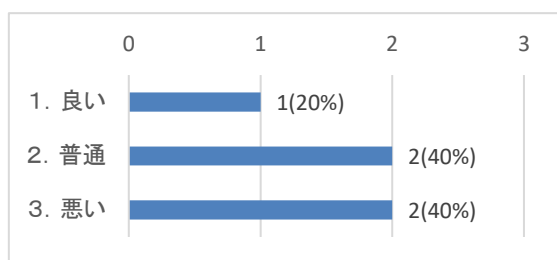


- ・今期に設備投資を実施した事業所は4件20%となっている。内容は、設備、車両・運搬具などとなっている。
- ・今後は3社15%が設備投資を予定しており、設備、車両・運搬具などへの投資計画となっている。

## ■業種別景況感など

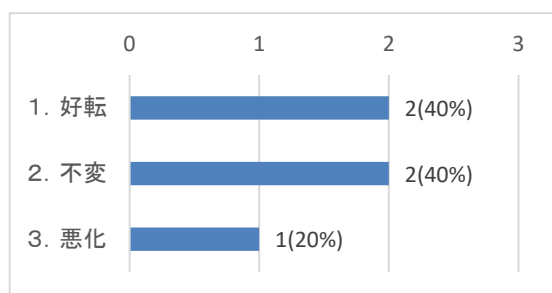
### <製造業>

#### ◇自社の現在の景況感 (今期 令和5年7月～9月)



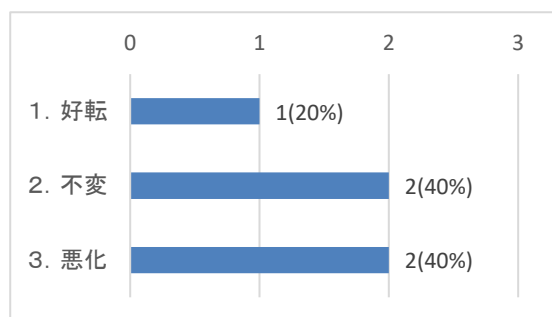
・「普通」、「悪い」がそれぞれ2社40%で最も多くなっている。

#### ◇売上(加工)額 (今期 令和5年7月～9月)



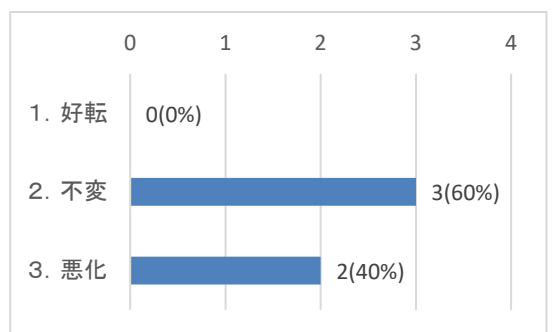
・「好転」、「不変」がそれぞれ2社40%で最も多くなっている。

#### ◇売上(加工)単価 (今期 令和5年7月～9月)



・「好転」、「不変」がそれぞれ2社40%で最も多くなっている。

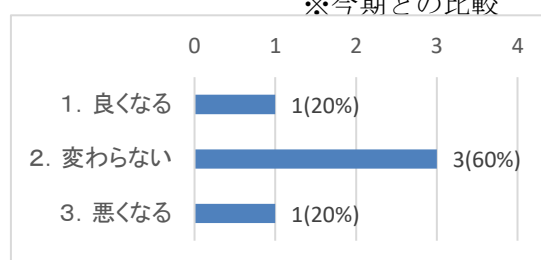
#### ◇売上(加工)数量 (今期 令和5年7月～9月)



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

#### ◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和5年10月～12月)

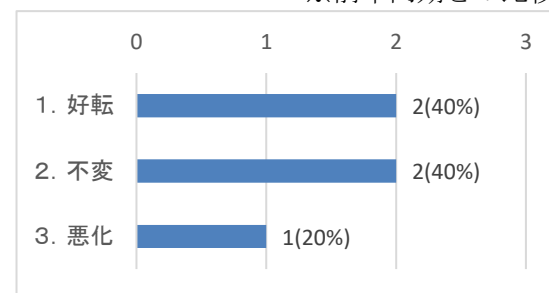
※今期との比較



・「変わらない」が3社60%で最も多くなっている。

#### ◇売上(加工)額 (来期 令和5年10月～12月)

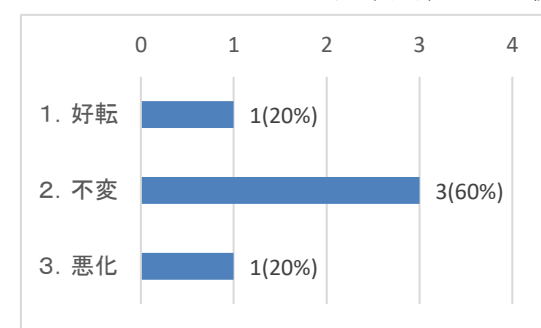
※前年同期との比較



・「好転」、「不変」がそれぞれ2社40%で最も多くなっている。

#### ◇売上(加工)単価 (来期 令和5年10月～12月)

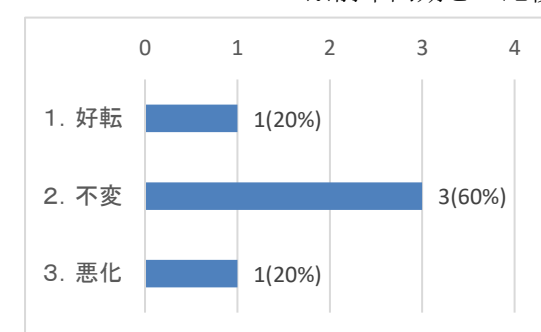
※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

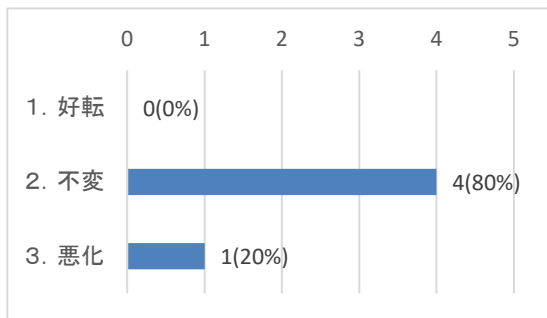
#### ◇売上(加工)数量 (来期 令和5年10月～12月)

※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

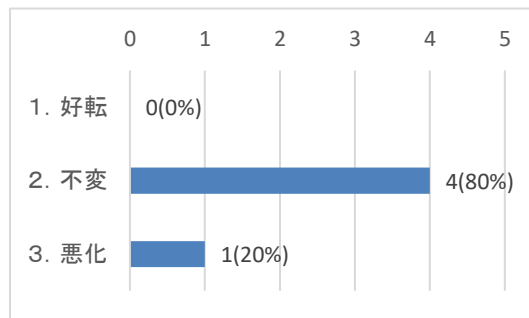
◇資金繰り（今期 令和5年7月～9月）



・「不変」が4件80%で最も多くなっている。

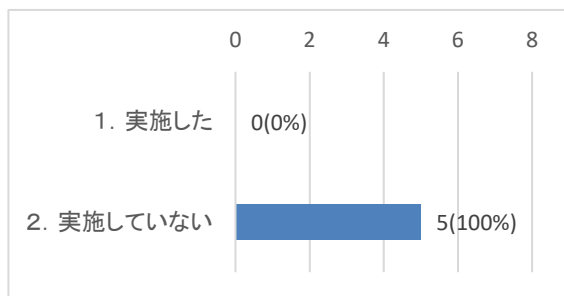
◇資金繰り（来期 令和5年10月～12月）

※前年同期との比較



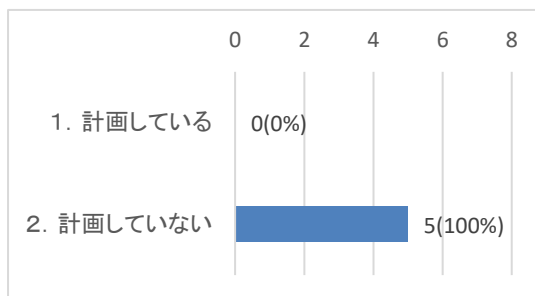
・「不変」が4社80%で最も多くなっている。

◇設備投資（今期 令和5年7月～9月）



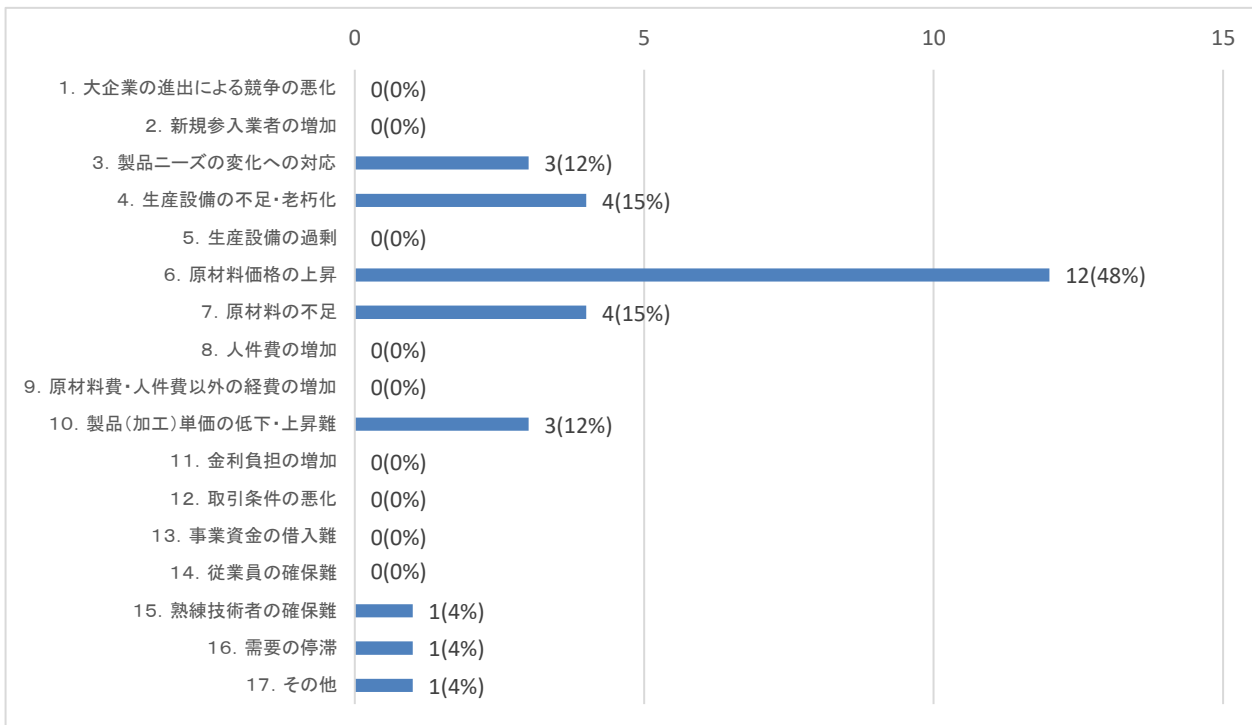
・設備投資は、実施されていない。

◇設備投資（来期 令和5年10月～12月）



・設備投資は、計画はない。

◇経営上の課題

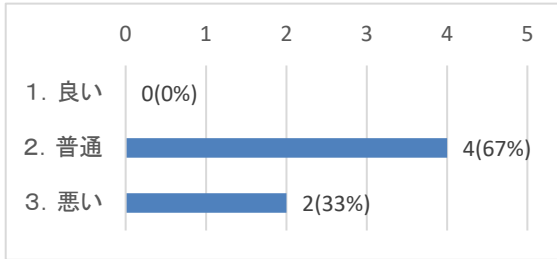


※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「原材料価格の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「生産設備の不足・老朽化」、「原材料の不足」と続く。

<建設業>

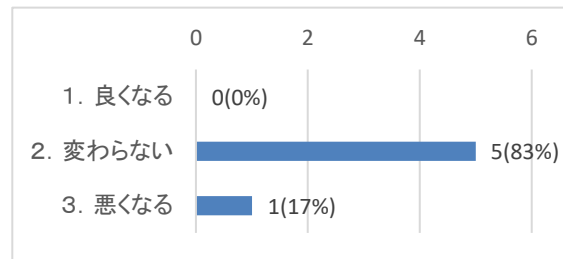
◇自社の現在の景況感 (今期 令和5年7月～9月)



・「普通」が4社67%で最も多くなっている。

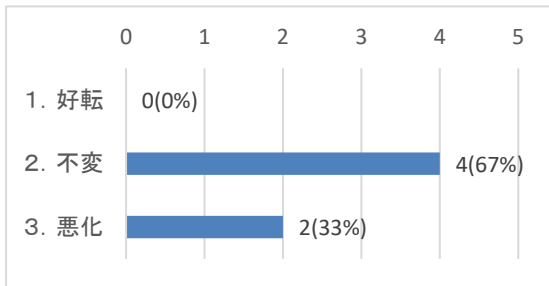
◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和5年10月～12月)

※今期との比較



・「変わらない」が5社83%で最も多くなっている。

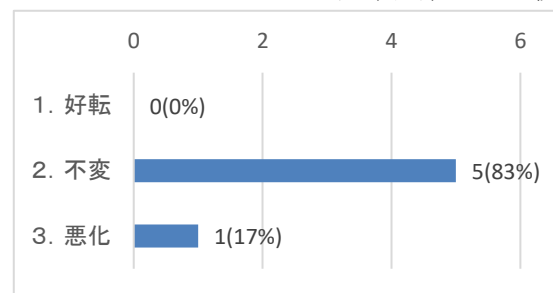
◇完成工事(請負工事)額 (今期 令和5年7月～9月)



・「不変」が4社67%で最も多くなっている。

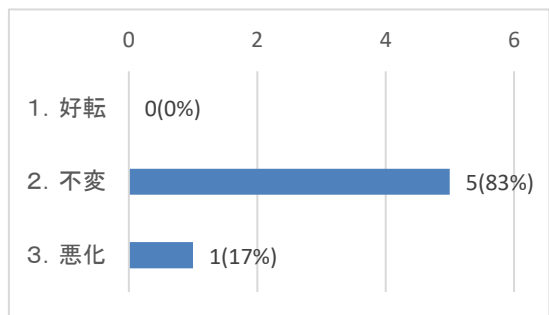
◇完成工事(請負工事)額(来期 令和5年10月～12月)

※前年同期との比較



・「変わらない」が5社83%で最も多くなっている。

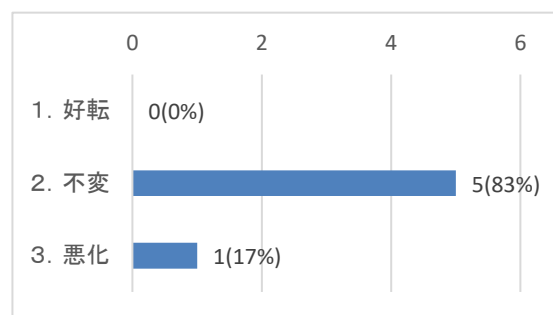
◇資金繰り (今期 令和5年7月～9月)



・「不変」が5社83%で最も多くなっている。

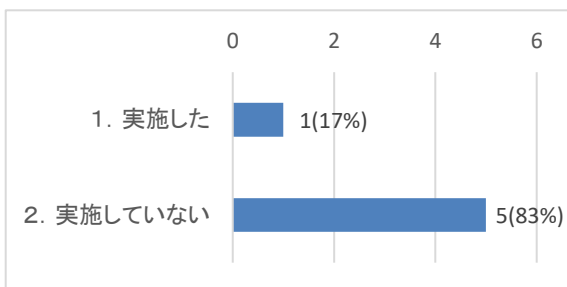
◇資金繰り (来期 令和5年10月～12月)

※前年同期との比較



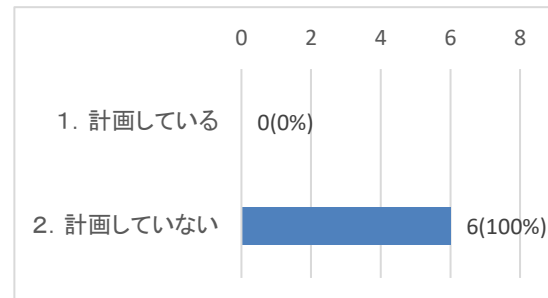
・「不変」が5社83%で最も多くなっている。

◇設備投資(今期 令和5年7月～9月)



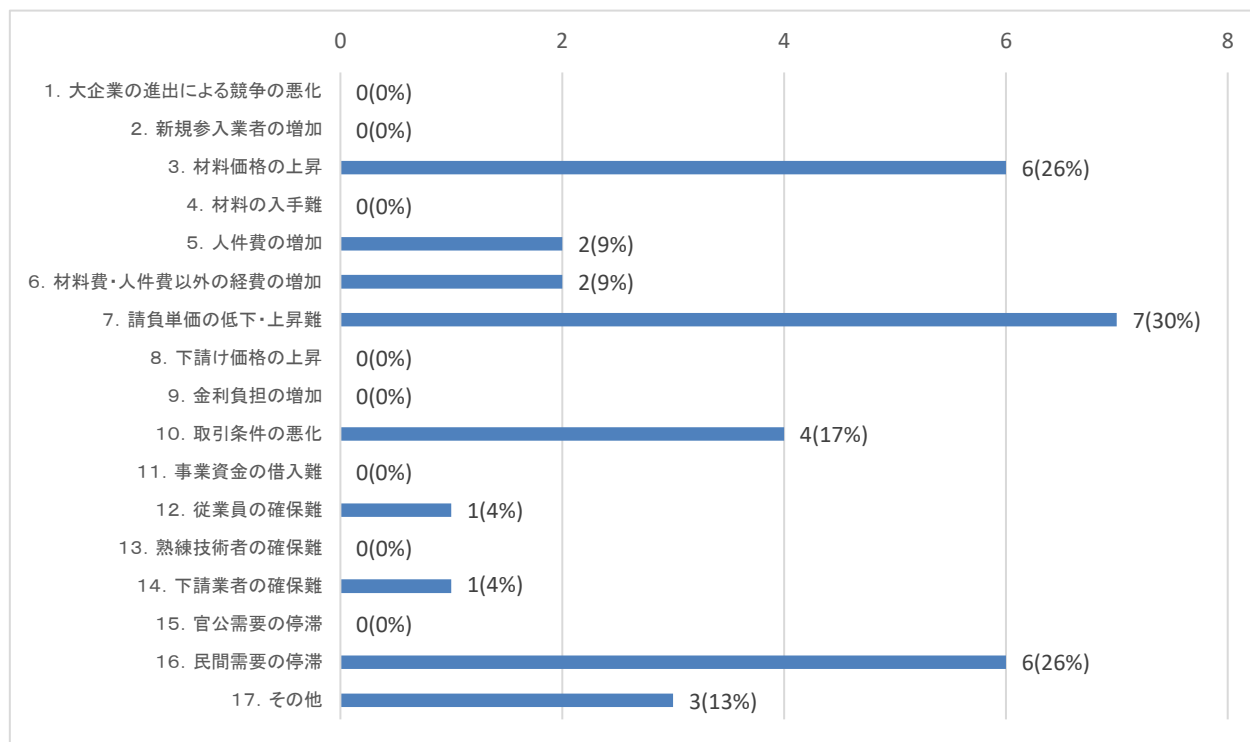
・設備投資は、1社17%が実施されている。

◇設備投資(来期 令和5年10月～12月)



・設備投資は計画されていない。

## ◇経営上の課題

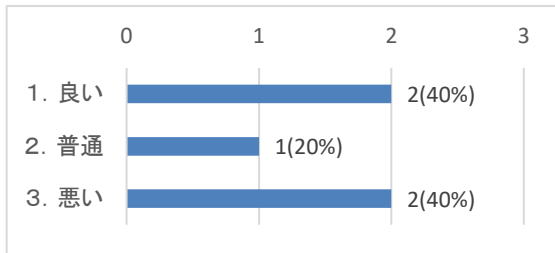


※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「請負単価の低下・上昇難」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「材料価格の上昇」、「民間需要の停滞」と続く。

<小売業>

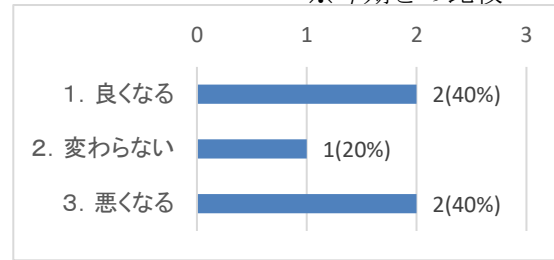
◇自社の現在の景況感 (今期 令和5年7月~9月)



・「良い」、「悪い」が2社40%ずつで最も多い。

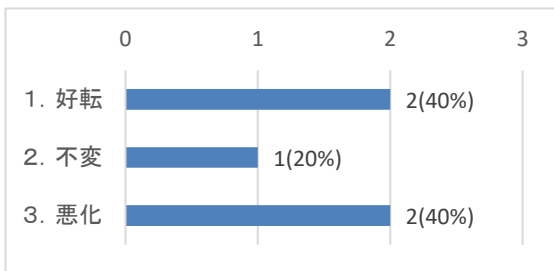
◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和5年10月~12月)

※今期との比較



・「良くなる」、「悪くなる」が2社40%ずつで最も多い。

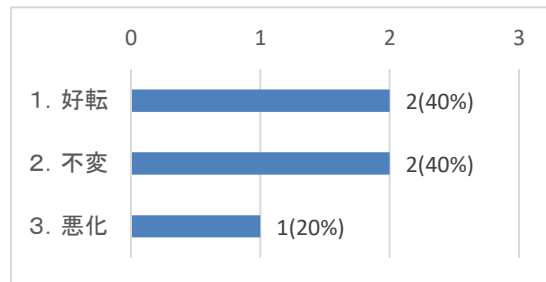
◇売上額 (今期 令和5年7月~9月)



・「好転」、「悪化」が2社40%ずつで最も多い。

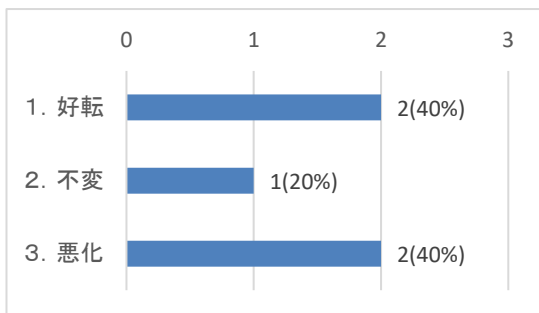
◇売上額 (来期 令和5年10月~12月)

※前年同期との比較



・「好転」、「不変」が2社40%ずつで最も多い。

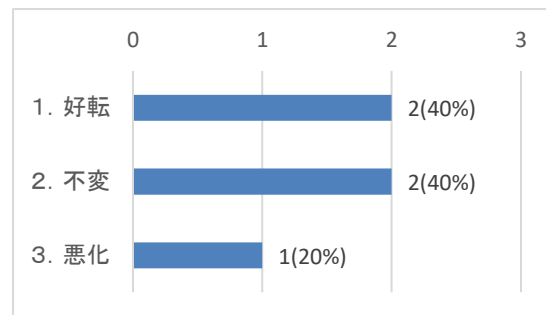
◇客単価 (今期 令和5年7月~9月)



・「好転」、「悪化」が2社40%ずつで最も多い。

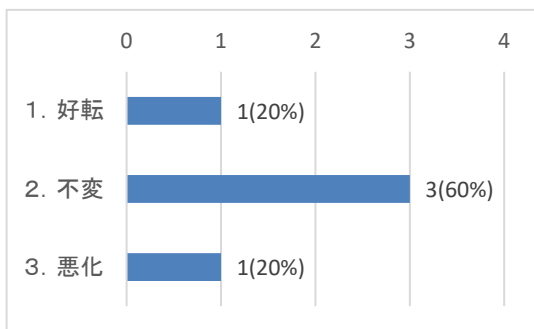
◇客単価 (来期 令和5年10月~12月)

※前年同期との比較



・「好転」、「不変」が2社40%ずつで最も多い。

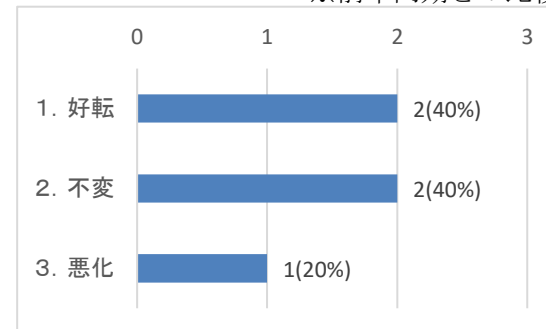
◇客数 (今期 令和5年7月~9月)



・「不変」が3社60%で最も多い。

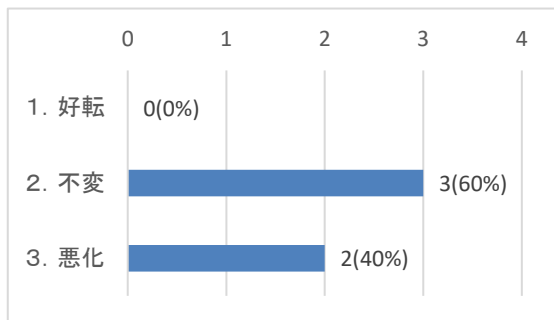
◇客数 (来期 令和5年10月~12月)

※前年同期との比較



・「好転」、「不変」が2社40%ずつで最も多い。

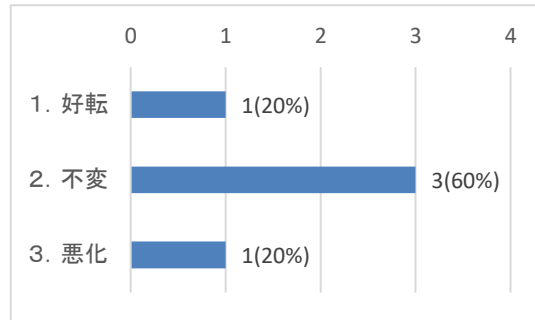
◇資金繰り（今期 令和5年7月～9月）



・「不変」が3社60で最も多く、次いで「悪化」が2社40となっている。

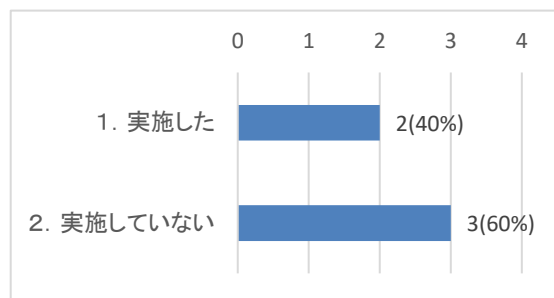
◇資金繰り（来期 令和5年10月～12月）

※前年同期との比較



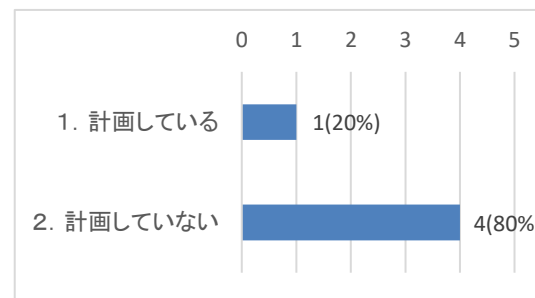
・「不変」が3社60で最も多く、「好転」、「悪化」が1社20%ずつとなっている。

◇設備投資（今期 令和5年7月～9月）



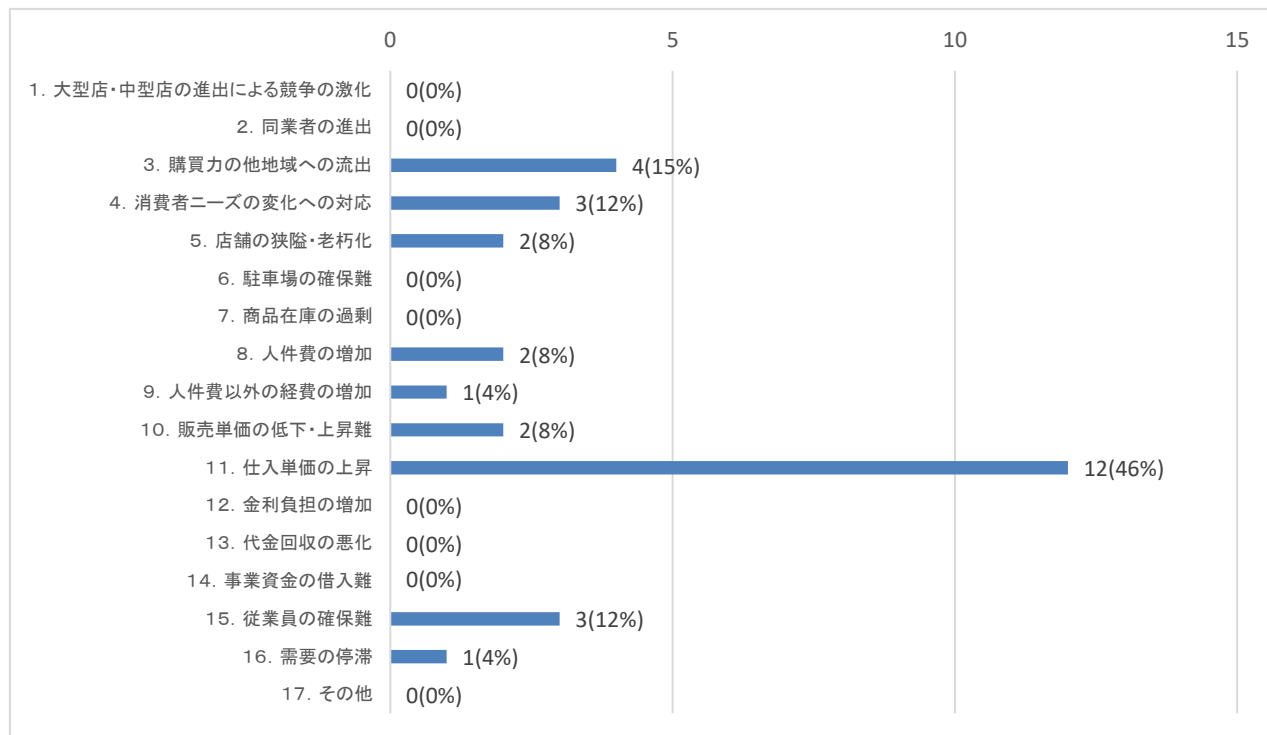
・設備投資は、2社40%が実施されている。

◇設備投資（来期 令和5年10月～12月）



・設備投資は、1社20%が計画されている。

◇経営上の課題



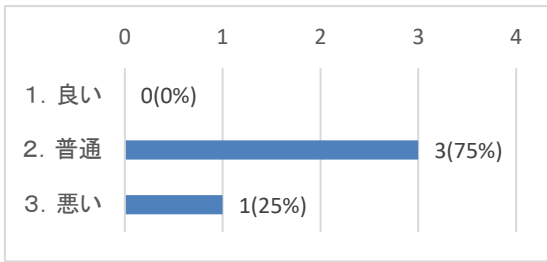
※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「仕入単価の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「購買力の他地域への流出」、「消費者ニーズの変化への対応」、「従業員の確保難」と続く。



<サービス業>

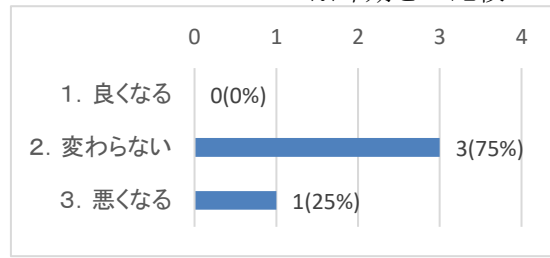
◇自社の現在の景況感 (今期 令和5年7月~9月)



・「普通」が3社75%で最も多く、次いで「悪い」1社25%と続く。

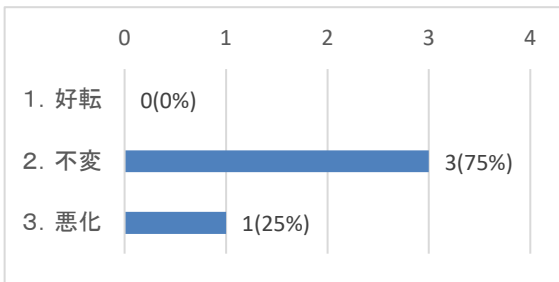
◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和5年10月~12月)

※今期との比較



・「変わらない」が3社75%で最も多く、次いで「悪くなる」1社25%と続く。

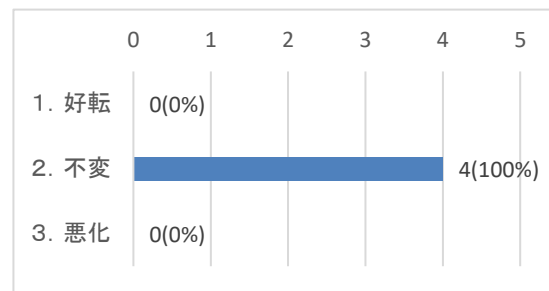
◇売上(収入)額 (今期 令和5年7月~9月)



・「好転」が3社75%で最も多く、次いで「不変」1社25%と続く。

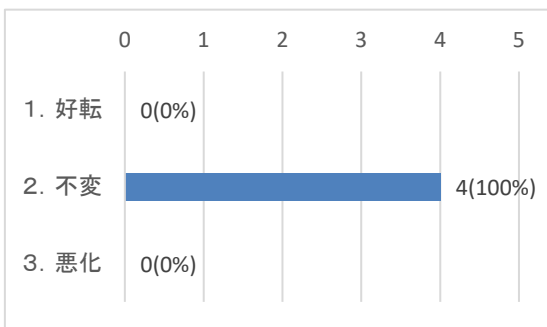
◇売上(収入)額 (来期 令和5年10月~12月)

※前年同期との比較



・「不変」が4社100%となっている。

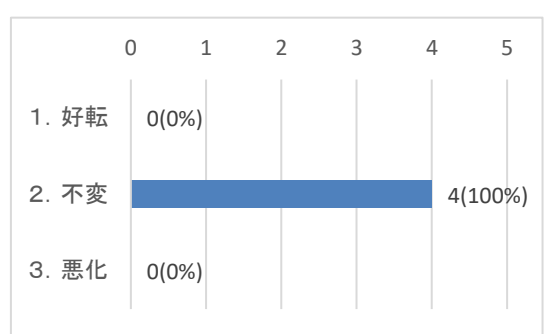
◇客単価 (今期 令和5年7月~9月)



・「不変」が4社100%となっている。

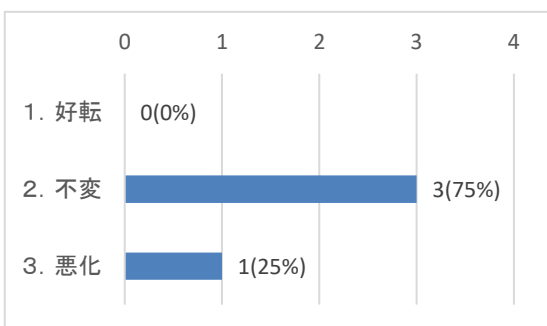
◇客単価 (来期 令和5年10月~12月)

※前年同期との比較



・「不変」が4社100%となっている。

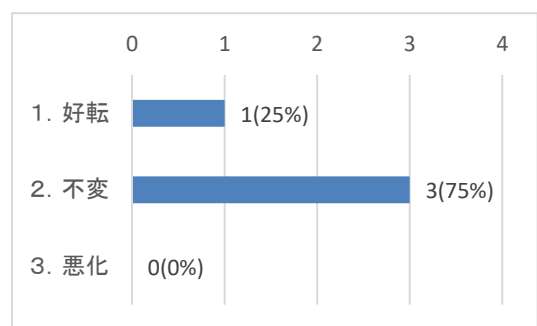
◇利用客数 (今期 令和5年7月~9月)



・「不変」が3社75%で最も多く、次いで「悪化」1社25%と続く。

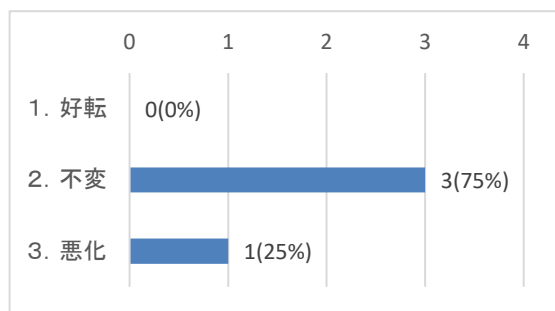
◇利用客数 (来期 令和5年10月~12月)

※前年同期との比較



・「不変」が3社75%で最も多く、次いで「好転」1社25%と続く。

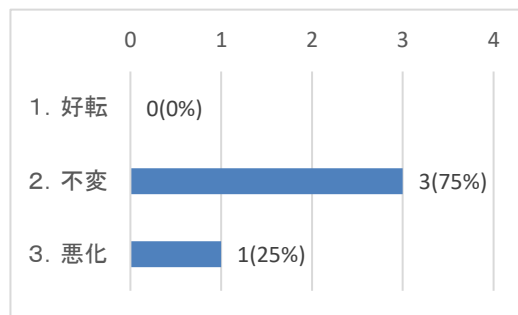
### ◇資金繰り（今期 令和5年7月～9月）



・「不変」が3件75%で最も多く、次いで「悪化」1社25%と続く。

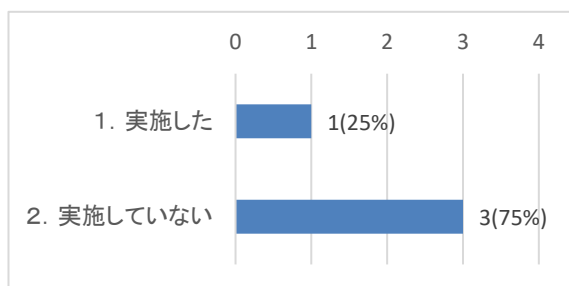
### ◇資金繰り（来期 令和5年10月～12月）

※前年同期との比較



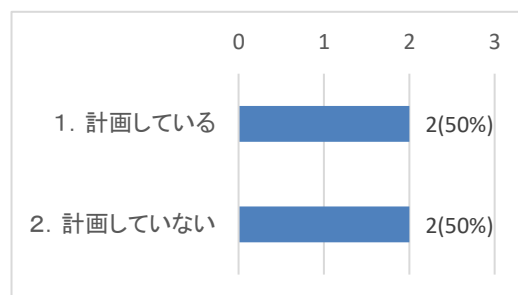
・「不変」が3件75%で最も多く、次いで「悪化」1社25%と続く。

### ◇設備投資（今期 令和5年7月～9月）



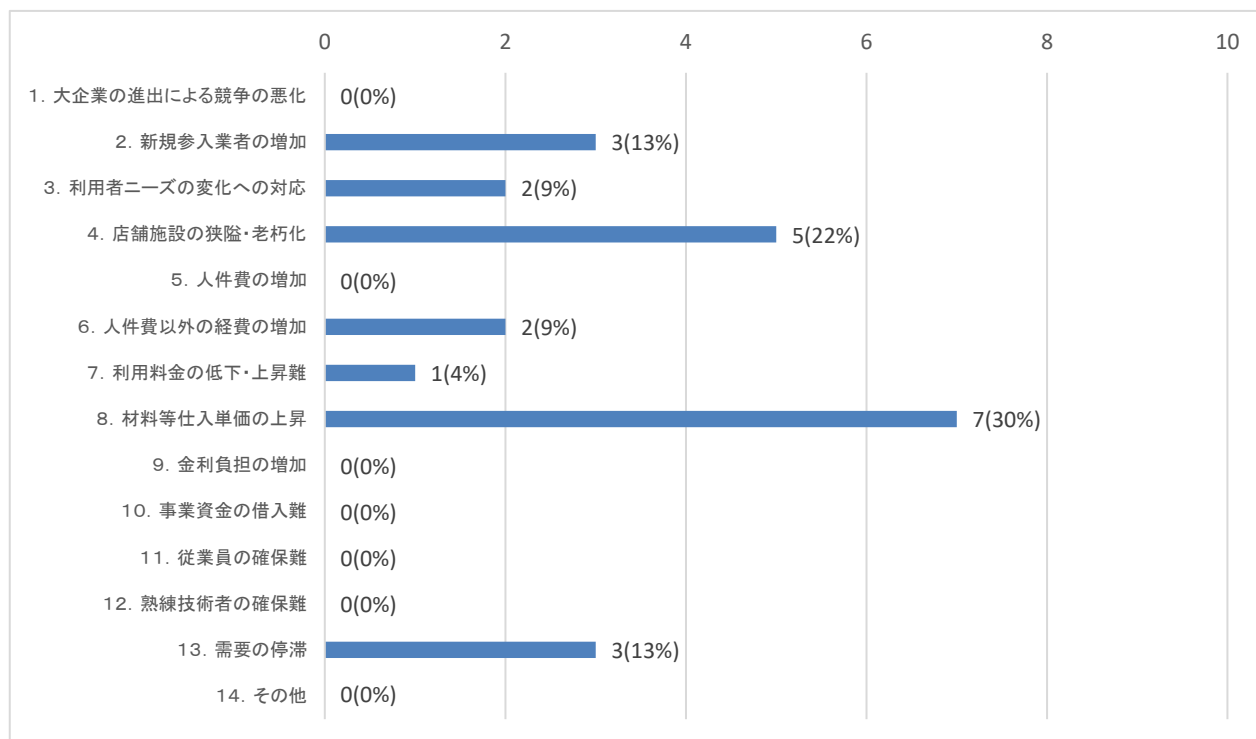
・設備投資は、1社25%が実施されている。

### ◇設備投資（来期 令和5年10月～12月）



・設備投資は、2社50%が計画されている。

### ◇経営上の課題



※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「材料等仕入単価の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「店舗施設の狭隘・老朽化」、「新規参入業者の増加」、「需要の停滞」と続く。

# 佐賀県の景況

## ■佐賀県内経済情勢報告 (R5.7 より)

### 『県内経済は、緩やかに回復しつつある』

- ・個人消費は、緩やかに回復しつつある。
- ・生産活動は、持ち直しつつある。
- ・雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
- ・設備投資は、令和5年度は増加見込みとなっている。
- ・企業収益は、令和5年度は減益見込みとなっている。
- ・住宅建設は、前年を下回っている。

## ■佐賀県主要経済統計速報 (R5.9 より)

佐賀県主要経済統計速報9月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。  
佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(7月)は、全店販売額が13ヵ月連続で上回った。  
乗用車新規登録台数(8月)は、9ヵ月連続で上回った。  
新設住宅着工戸数(7月)は、3ヵ月振りに上回った。  
公共工事前払保証請負金額(8月)は、4ヵ月連続で下回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(7月)は、2ヵ月振りに下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(7月)は同水準であった。
- ・企業倒産件数(8月)は3件減で、負債金額(8月)は5ヵ月振りに下回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(7月)は、42ヵ月連続で上回った。

### <佐賀県内の参考指数>

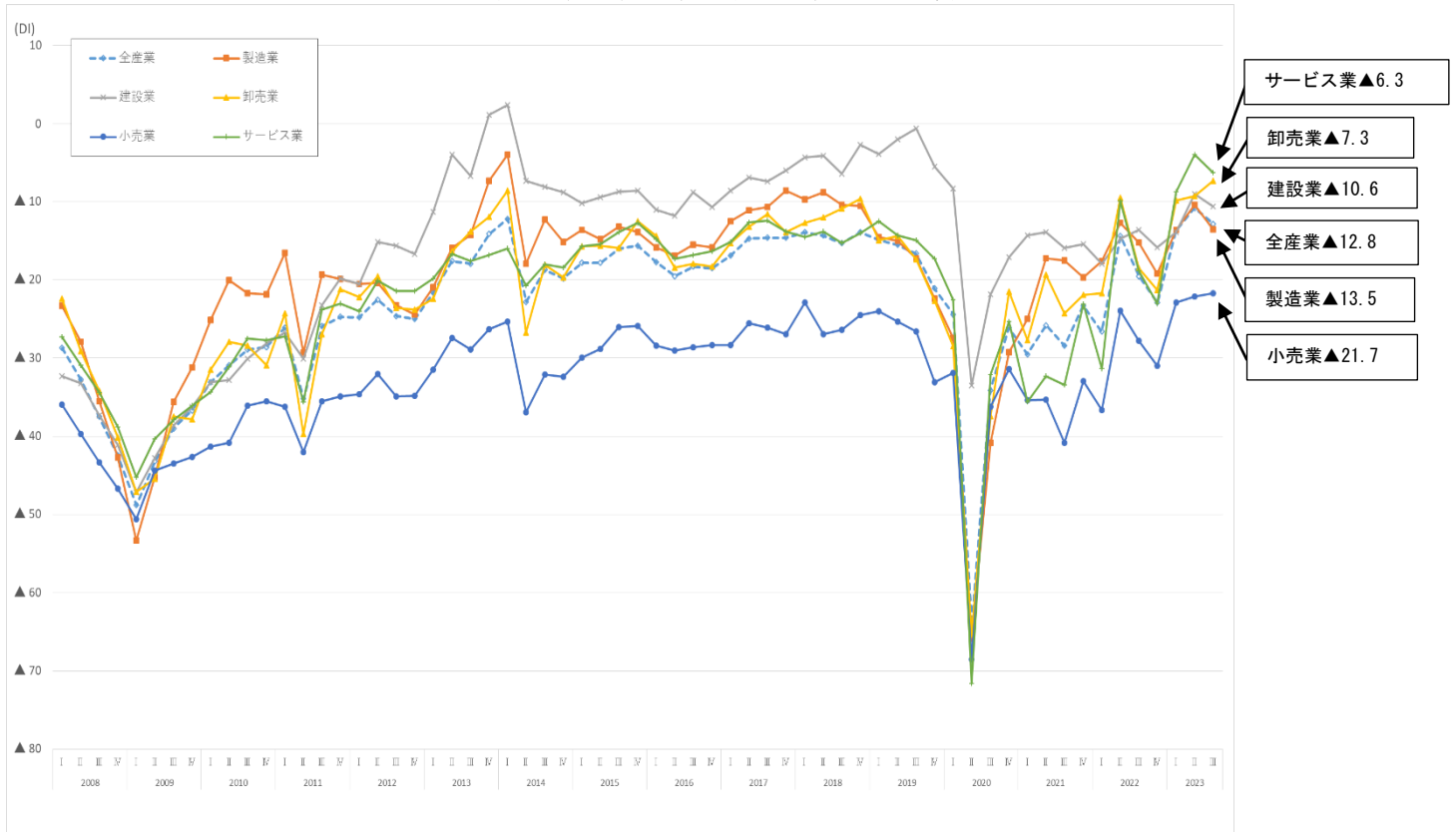
項目			対象月	数 値	対前年同月比・ 増 減 分	前月比・増減分
県内 需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	7月	56億63 百万円	3.9%	10.6%
		全店販売額		—	3.9%	—
	住宅建設	乗用車新規登録台数	8月	1,980 台	31.2%	△4.3%
		新設住宅着工戸数	7月	577 戸	23.0%	52.6%
	公共工事	公共工事前払保証請負金額	8月	86億55 百万円	△31.3%	△26.0%
生産	鉱工業生産指数(注)		7月	90.7	△6.2%	△6.2%
雇用	所定外労働時間数指数(事業所規模30人以上)		7月	99.0	2.1%	—
	有効求人倍率・受理地別(季節調整済)		7月	1.36 倍	0.01	△0.01
	有効求人倍率・就業地別(〃)		7月	1.54 倍	0.00	0.01
企業 倒産	企業倒産状況 (累計は年間ベース) (注)	倒産件数(当月)	8月	2 件	△3件	△4件
		〃(累計)		24 件	8件	—
		負債金額(当月)		20 百万円	△7億77百万円	△4億52百万円
		〃(累計)		20億82 百万円	△5億46百万円	—
物価	消費者物価指数(佐賀市)		7月	104.9	3.3%	0.6%
金融	金融機関(銀行)貸出残高		7月	1兆4,724 億円	3.5%	0.1%
人口	推計人口		9月	794,760 人	△6,123人	△74人
	推計世帯数			319,483 世帯	2,275世帯	185世帯
景気 動向 指数	先行指数		7月	25.0%	—	—
	一致指数			28.6%	—	—
	遅行指数			50.0%	—	—

# 全国の景況

## ■中小企業景況調査(2023年7~9月期より)

『中小企業の業況判断DIは、3期振りに低下した』

＜中小企業の業況判断(2023年7~9月期)＞

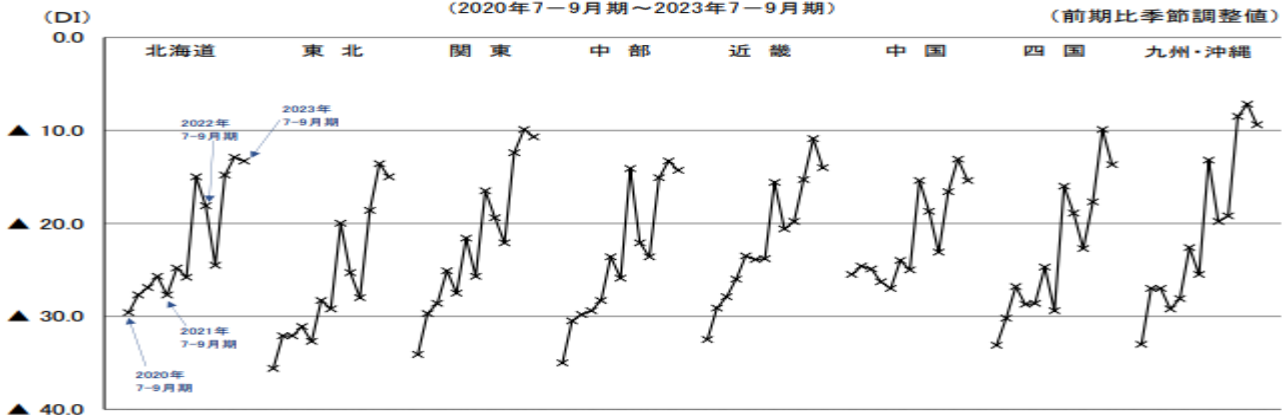


- ・2023年7~9月期の全産業業況判断DI値は、▲12.8(前期より2.0ポイント減)となり、3期振りに低下した。
- ・業種毎には製造業、建設業、サービス業でポイント減少となっていて、卸売業、小売業でポイント増加となっている。

## ＜地域別業況判断(2023年7~9月期)＞

中小企業の地域別業況判断DIの推移(全産業)  
(2020年7-9月期~2023年7-9月期)

(前期比季節調整値)



(注)1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。  
2. 関東には、新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には、石川、富山の各県、近畿には、福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄の合計。

- ・地域別の業況判断では、九州・沖縄をはじめ他の全ての地域でマイナス幅が拡大した。

## ■月例経済報告 (R5.9 月号より)

### 『景気は、緩やかに回復している』

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。
- ・生産は、持ち直しの兆しがみられる。
- ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、持ち直している。
- ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・消費者物価は、上昇している。
- ・先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

■参考 全国・佐賀県・佐賀市南の業況などの比較 (2023年7月～9月期)

◇景況判断(DI値)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲12.8	▲16.0	▲20.0
製造業	▲13.5	▲16.6	▲20.0
建設業	▲10.6	▲35.2	▲33.3
卸売業	▲7.3	14.1	-
小売業	▲21.7	▲17.9	0.0
サービス業	▲6.3	▲8.9	▲25.0

全産業では、全国▲12.8に対し、佐賀県は全国値よりポイント減の▲16.0となっている。

◇売上額DI(「増加」-「減少」前期比季節調整値)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲4.9	▲3.4	▲10.0
製造業	▲9.1	▲12.5	20.0
建設業	▲10.0	▲27.9	▲33.3
卸売業	▲5.1	21.7	-
小売業	▲11.1	▲1.2	0.0
サービス業	3.6	9.6	▲25.0

全産業では、全国▲4.6に対し、佐賀県は▲1.5であり、全国値と比較してポイントは高い。

◇資金繰りDI(「好転」-「悪化」前期比季節調整値)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲11.3	▲12.6	▲25.0
製造業	▲11.8	▲12.6	▲20.0
建設業	▲8.3	▲16.7	▲16.7
卸売業	▲7.1	2.7	-
小売業	▲17.3	▲19.6	▲40.0
サービス業	▲8.4	▲8.1	▲25.0

全産業では、全国▲10.8に対し、佐賀県は▲13.7で全国値と比較してポイントは低い。

◇投資(設備投資実施企業割合(実施企業/回答企業×100)単位:%)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	17.6	14.9	20.0
製造業	22.2	13.0	0.0
建設業	19.7	23.3	0.0
卸売業	21.0	25.0	-
小売業	12.0	6.7	40.0
サービス業	16.7	18.0	25.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国16.7%に対し、佐賀県は13.9%と低くなっている。

## ◇経営上の課題

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全国	原材料価格の上昇	需要の停滞	従業員の確保難
	佐賀県	原材料価格の上昇	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化
	佐賀市南	原材料価格の上昇	生産設備の不足・老朽化 原材料の不足	—
建設業	全国	材料価格の上昇	従業員の確保難	熟練技術者の確保難
	佐賀県	材料価格の上昇	従業員の確保難	官公需要の停滞
	佐賀市南	請負単価の低下・上昇難	材料価格の上昇 民間需要の停滞	—
小売業	全国	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
	佐賀県	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
	佐賀市南	仕入単価の上昇	購買力の他地域への流出	消費者ニーズの変化への対応 従業員の確保難
サービス業	全国	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	佐賀県	材料等仕入単価の上昇	従業員の確保難	需要の停滞
	佐賀市南	材料等仕入単価の上昇	店舗施設の狭隘・老朽化	新規参入業者の増加 需要の停滞

全国、佐賀県、佐賀市南エリア事業者の問題点を比較すると以下のとおりである。

- ・製造業では、全国、佐賀県、佐賀市南とも1位は「原材料価格の上昇」となっている。
- ・建設業では、全国、佐賀県の1位は「材料価格の上昇」で、佐賀市南は「請負単価の低下・上昇難」となっている。
- ・小売業では、全国、佐賀県、佐賀市南とも1位は「仕入単価の上昇」となっている。
- ・サービス業では、全国、佐賀県、佐賀市南とも1位は「材料等仕入単価の上昇」となっている。